

学 校 関 係 者 評 価 報 告 書

学校関係者評価の基本方針

企業・業界団体・学術機関の有識者等との連携により、各専門分野における知見を活かして各学科の教育目標や教育環境等について評価し、その評価結果を教育活動及びその他の学校運営の改善に活かしていく。

開催日 令和4年11月28日（月）15時40分～17時00分

場 所 南海福祉看護専門学校 本館335教室

評価項目	現状・達成目標	課題と今後の改善方策	学校関係者の評価・提言
<p>(1) 教育理念・目標</p> <p>学校の理念・目的・育成人材像は定められているか。</p>	<p>「人間（ひと）を大切に」という教育理念のもとに、</p> <p>①勤勉であること、 ②人・ものを大切にすることを ③全ての人に明るく対応できること ④基本的な生活習慣を正しく確立すること ⑤公共心、協調性を身につけること ⑥目的意識・向上心をもち積極的であること</p> <p>の6つの教育目標を掲げている。</p>	<p>課題</p> <p>教育理念等は、学生便覧に掲載して学生へ配布しているが、学生への理解及び保護者への周知が課題。</p> <p>改善策</p> <p>授業やホームルームの時間等で普段から繰り返して伝えていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 年度初めのオリエンテーション、ホームルーム、就職支援や個人面談等、行事や集会があるたびに教育理念等を発信していく。 ○ 教職員一人ひとりの意識に差はないか。学生への指導に当たり、教職員も強い意識で教育目標の実践が必要である。 ○ 教育目標は福祉の学校として根幹であるものなので、教育課程編成委員会でも取り上げて、カリキュラムの一環としても導入してもよいのでは。 ○ 礼儀やマナーは、授業で習えればできるというものではなく、日常の積み重ねから習得されるものなので、その場その場で指導が必要である。
<p>(2) 学校運営</p> <p>目的等に沿った運営方針が策定されているか。</p>	<p>期初に年間事業計画を作成。隔週開催の運営会議、月1回の職員会議にて運営の進捗等を確認。その他、学科会議にて各分野に沿った方針を確認。</p>	<p>課題</p> <p>法令遵守の観点から業務の簡素化、効率化を図る。</p> <p>改善策</p> <p>勤怠管理システムを導入し、有効に活用する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学科内のこと、校務分掌での活動のことを各長の下で運営できているか。運営会議にて確認をする。 ○ 運営の如何は人で決まる。一人ひとりが責任と自覚をもって業務を遂行していただきたい。 ○ 運営方針は、期初に明確であるので、進捗管理を確実に行えているか。
<p>(3) 教育活動</p> <p>教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。</p>	<p>各学科、規程に則り、教育課程を定めており、選択科目や独自科目において本校の特色をだしている。</p> <p>コロナ禍で進められていなかった多職種連携の取り組みを行っている</p>	<p>課題</p> <p>本校の教育理念をいかに教育課程に反映させるのかが課題。</p> <p>改善策</p> <p>教育課程、授業内容、授業方法を期初に決めているので、実践する。担当教員は進捗を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学生評価アンケートがどのようにフィードバックされているのか。アンケートの回収率をどのように上げるべきかが今後の教員の質の向上に繋がるのではないかと。 ○ 教授能力向上に向けた研修を行う。また、各教員が専門分野の研修を受けに行っていると思うが、更に多くの研修に参加して学生へ還元して欲しい。 ○ 学校での感染防止対策の取り組み自体が、そのまま現場での感染防止対策となるので、引き続き感染対策を講じる。

<p>(4) 学修成果</p> <p>就職率の向上が図られているか。</p>	<p>学校運営組織、キャリア支援部に各学科の教員が担当として編成している。各学科会議にて連携し本校学生のキャリア形成と就職活動を推進及び支援をしている。</p>	<p>課題</p> <p>早期就職活動の意識づけをし、年内に内定を獲得できるよう指導する。</p> <p>改善策</p> <p>学内就職ガイダンスや就職フェアへの推進を強化する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2年次（看護学科は3年次）の早期に履歴書作成指導と個別面談を行い、学内就職ガイダンスや就職フェアの取り組みと連動させた指導を行う。 ○ 就職後の定着率も注目されてきている。離職する原因を把握できれば、定着に向けた指導に活かすことができるのではないかな。 ○ 現場で働いている卒業生を招待して就職講演会を実施している。就労への動機づけやキャリア形成の意識を高める。
<p>(5) 学生支援</p> <p>進路・就職に関する支援体制は整備されているか。</p>	<p>クラス担任制による個別指導の実施。学内及び学外就職ガイダンス、模擬面接、スーツデイ等の実施により、早期の就職意識の高揚を促している。</p> <p>心理カウンセラーが月に2回来校して、カウンセリングを行っている。（予約制）</p>	<p>課題</p> <p>全体指導と個別指導の両方を効果的に実施することを追求する。</p> <p>改善策</p> <p>個別指導の場合、対象者の個性を教員同士共有して複数で指導にあたる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ たくさん送られてくる求人票を分野、施設種別、職種等の整理と地域も様々である。学生への情報提供を分かりやすくできているか。 ○ 心の病や発達障害がある学生が増えてきている。教員としての関わりを丁寧にしていくと共に、関係する専門機関等へ繋げていくことも視野に入れて指導する必要がある。 ○ 経済的な学生支援は、個別で「学費延納・分納願」の提出で対応している。人数が増えてきているので、管理体制を強化する必要がある。
<p>(6) 教育環境</p> <p>施設整備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。</p>	<p>教育上必要な機器・設備については購入及び修繕を行い整備する。</p> <p>防災体制の整備。</p>	<p>課題</p> <p>視聴覚機器等の不具合。2号館老朽化による雨漏り、空調の不具合。防災体制の整備。</p> <p>改善策</p> <p>防災体制を見直し、整備する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防火防災、危機管理等マニュアルは整っているか。また、その内容は行政及び地域の体制と連動しているか。 ○ 設備環境だけでなく、人的な環境も整備されているか。教職員組織の配置や学友会（学生自治組織）等、教育の観点から有効に機能しているか？ ○ 災害時、避難経路等を示した冊子を配付してはどうか。
<p>(7) 学生の受入れ募集</p> <p>学生募集活動は、適正に行われているか。</p>	<p>大阪府専修学校各種学校連合会が定めた専修学校版A0入試に関する運用基準に沿って、スケジュール、留意事項等を遵守し、適正に行っている。</p>	<p>課題</p> <p>受験生が専門学校に求めるニーズを掌握し、分析する。</p> <p>改善策</p> <p>上記記載の分析の結果、対応策を考えて実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ オープンキャンパス開催日以外でも高校生の都合に対応できるよう心掛け、来校いただく機会を増やすことが大事。仕事をされている社会人に対しては、平日の夜に来校いただく機会があればよいのでは。 ○ オープンキャンパスや高校でのガイダンスが受験生への直接的なアピールの場となる。高校生のニーズを掌握し、募集活動の準備を丁寧に揃える必要がある。また、社会人に対しても同様である。 ○ 高校による専門分野の出前授業がある。高校生へ専門分野の魅力を伝えると共に、学校のアピールにもなるので、積極的に参加をする。
<p>(8) 財務</p> <p>中長期的に財務基盤は安定しているといえるか。</p>	<p>看護学科の安定した定員充足と介護社会福祉科の留学生受入により、財務的には安定した。</p>	<p>課題</p> <p>こども未来学科の入学増加 日本語能力の高い留学生の確保</p> <p>改善策</p> <p>こども未来学科は、オープンキャンパスを増やして来場者数を増加させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保育士養成は大学・短大への進学が容易傾向になり、専門学校の入学希望者が減少している。専門学校の特徴や優位性をアピールして学生募集に努める。 ○ 上記と同様で、保育士を希望する人が減少していると聞いたことがある。今後の18歳人口と分野のニーズとを考慮して学科の体制を検討する必要がある。 ○ 校舎及び視聴覚機器の老朽化問題が見受けられる。修繕や増改修の検討と同時に新学科体制を総合的に検討した財務計画の検討が必要である。

<p>(9) 法令等の遵守</p> <p>法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。</p>	<p>学校教育法、各学科に関する法令及び規定、専修学校設置基準等に基づき適正な運営を行っている。</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="797 150 920 188">課題</td> </tr> <tr> <td data-bbox="797 188 1176 325"> <p>教職員は専門分野だけに精通することなく、関係する法令を把握して、その役割を果たす一員である自覚を持つこと。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="797 325 920 363">改善策</td> </tr> <tr> <td data-bbox="797 363 1176 469"> <p>関係する法令を学習し、業界動向、社会ニーズ、法改正の情報等の収集力を高める。</p> </td> </tr> </table>	課題	<p>教職員は専門分野だけに精通することなく、関係する法令を把握して、その役割を果たす一員である自覚を持つこと。</p>	改善策	<p>関係する法令を学習し、業界動向、社会ニーズ、法改正の情報等の収集力を高める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 法令や規定は養成校の根幹となるため、教職員は法令遵守の精神と研鑽を実践して欲しい。 ○ 行政等が実施する説明会や研修へは積極的に参加して、そこで知り得た情報や学んだ知識等を養成校として精査して、学校運営に反映してほしい。 ○ 文科省や厚労省から発信される情報は、大阪府私学課から管轄の学校へ発信される。その内容を教職員は共有して適切な対応を図ること。
課題							
<p>教職員は専門分野だけに精通することなく、関係する法令を把握して、その役割を果たす一員である自覚を持つこと。</p>							
改善策							
<p>関係する法令を学習し、業界動向、社会ニーズ、法改正の情報等の収集力を高める。</p>							